

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
2.誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1)地域への積極的な情報発信及び提案									
①	運営推進会議の記録やサービスの概要等の地域に向けた情報の発信	20	運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が行われている			○		会議に参加した地域包括支援センター長や民生委員、近隣施設長、ご家族の方には会議報告書を送付し、職員には回覧していますが、ホームページなどに掲示していないので、今後掲示します。	毎回詳細な会議の情報提供はされていると思います。個人情報保護の観点から、HP等への公開は概要を要約したもので十分な印象を受けます。
		21	サービスの概要や効果等についての地域における正しい理解を広めるため、広報周知が行われている			○		同上	個人情報保護等に留意し、今後も広報誌やHP等を活用し、地域への配信や広報周知活動を継続していただければと思います。
Ⅲ結果評価									
①	サービス提供後の利用者の変化	22	利用者ごとの計画目標の達成が図られている			○		ケアマネが介護職員に利用者の状態を聞いて、目標が達成できているか確認しています。本来はモニタリング表を用いて介護職員が担当ごとに目標の達成を図っていくのが望ましい。	利用者の状況並びに日常生活を把握し、ケアマネや介護職員が確認しあっていることは評価できます。介護職員によるモニタリングを基に目標達成を確認していくことで現場での介護サマリと計画作成の連動性が高まっていくものと思います。
②	施設生活に対する安心感	23	安心して施設での生活を送ることができる			○		入所当初に比べて落ち着いて生活ができている利用者が多くなりました。	介護職員が親身にお世話をしてくれるので安心です。今後もユニットケアのメリットである家庭的な雰囲気づくりを大切に、利用者の笑顔がたくさん見られるような生活を期待しています。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
②	看護職によるサービス提供に関する指導・助言	16	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導・助言が行われている		○			朝会時に利用者の状況報告があり、看護師から介護職員に対して病状などの指導・助言が行われています。また、季節により感染予防の指導があります。	感染症による集団発生もなく利用者の体調を把握し、助言や指導が行き届いていると思います。今後も看護職員と介護職員との連携の推進を図っていかれることを望みます。
(4)利用者等との情報及び意識の共有									
①	利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	17	サービス開始前に、利用者・家族にサービスの内容・目的を説明している		○			契約時にケアプラン、サービスの内容・目的を説明しています。ただ、認知症等で理解できない利用者には家族のみ説明しています。	サービス内容を理解してもらうためにご本人もしくはご家族に対し、きちんとした説明がなされていると思います。
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	18	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行っている		○			説明して理解できる利用者には説明していますが、認知症等で理解できない利用者には家族のみ説明しています。	入居者家族として随時十分な説明を受けています。今後も継続して、丁寧な説明を心掛けてください。
		19	利用者の状況の変化やそれに伴うサービス提供の変化について家族へ報告している	○				利用者の状況の変化、通院が必要な場合や服薬の変更は電話連絡や手紙で家族にお知らせしています。	同上

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
②	利用者の心身の機能の維持回復	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成をしている		○			心身機能の維持回復の必要性が高い方は、ケアプランの課題に挙げるようにしています。	アセスメントにより必要と思われるものはきちんと計画に基づき支援されていると思います。
(2)利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	14	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			介護職員、看護職員と話し、利用者の状況変化を把握するようにしています。状況が大きく変わった場合はケアプランの変更を行っています。	モニタリングの具体的なルーティングの確立が大切です。介護職員による状況変化等の早期把握と医療的なケアでの看護職員との連携によるモニタリングが基となり、ケアマネが最終的に計画へ反映させるといった一連の流れを構築していくことが大切だと思います。
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を活かした柔軟なサービスの提供	15	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている		○			介護職員は予防、発見の徹底に努め、内服薬や塗布薬などを行う場合は看護職員の指示を受け実施します。	介護職・看護職の役割分担がきちんとできていると思います。今後も継続して介護職員と看護職員の連携を図って下さい。互いの意見を尊重し合いながら、役割分担が明確になることが理想だと思います。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
(5)安全管理の徹底									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等、事業所においてその具体的な対策が講じられている		○			職員の健康診断・腰痛検診・ベルト装備・トランス技術の助言・安全運転講習など安全は確保されています。また、災害時の緊急体制も構築されています。	引き続き、職員の労働衛生面での取組みを推進して下さい。また、定期的な訓練を通じ、災害等への対策意識の向上を図っていただければと思います。
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取扱いと保護についての具体的な工夫が講じられており、管理者や職員において共有されている		○			法人独自の利用者に係る個人情報保護規程や就業規則により明確にしています。また、職員には入職時の職員研修・法人全体研修などに於いて説明をしています。	的確に対応されていると思いますので、今後も個人情報の保護に十分な配慮を継続して下さい。
II 過程評価									
1.利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1)利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の1日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			各利用者の生活状況や課題はユニット会議で話し合っていますが、一人一人の細かい生活状況まで把握できているかが疑問です。	ユニット会議での話し合いで各利用者の状況の把握に努めていると思います。気づきのアセスメントも大切にして、介護技術だけでなく、今後も傾聴の姿勢等により、話しやすい雰囲気を中心掛けて下さい。
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施されている		○			利用者の日常生活の食事、排泄、睡眠、褥瘡などにおいて異常がある場合は、看護職員に報告し適切な指示を受けて実施しています。	介護・看護間の情報の共有がされており異常時の対応がきちんとされていると思います。互いの立場を尊重し合い、更なるチームケアの推進を図って下さい。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼで きている	できて いない ことが多い	全くで きてい ない		
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			毎朝の業務報告や毎月のユニット会議において、それぞれの立場から意見・要望を話し合い相互理解・認識を共有しています。	毎月の会議において各々の立場から理解し、共有化がほぼできていると思います。今後も情報の共有化を推進されていくことを望みます。
(3)適切な組織体制の構築									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			出来る限り最適で且つ柔軟な人材配置を行っています。	限られた人員配置の中、ご苦労が多々あると思いますが、今後も出来る限りの工夫の中で互いの職員が協力、連携を図っていかれることを期待します。
②	サービス担当者会議で得られた意見等の適切な反映	7	サービス担当者会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			主に入所面接結果の報告、ケアプランの見直し時に開催。各専門職からの意見を踏まえてサービス提供をしています。	ケアプランの見直しに関しては、モニタリングが重要となります。プランを変更する際のインフォームドコンセントを大切に、サービス提供を継続して下さい。(家族からみて)サービス担当者会議での情報がプランに的確に反映されていると思います。
(4)適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			毎朝の利用者状況報告やユニット内の連絡ノートを使って迅速に情報の共有を行っています。	ユニット内での連絡ノートの活用は非常に有効な手段と思いますので今後も確かな情報の共有を継続して下さい。(家族に対しても)月に一度、直近の状況報告があり、ありがたい情報になっています。

評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
I 構造評価[適切な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの 特徴を踏ま えた理念の 明確化	1	利用者が安心して施設 での生活を送ることが できるよう事業所独自 の理念を掲げている か。	○				「家庭的で楽しく、安心して生 活が過ごせる環境づくり」を モットーに、個々の生活に合 わせた介護・支援を行い、自 由で安心した生活が送れる よう心掛けています。	今後も少人数でのユニットケアの 意義を大切にケアを継続され ていくことを期待しています。
(2) 適切な人材の育成									
①	専門技術 の向上のた めの取組	2	管理者と職員は、当該 サービスの特徴および 事業所の理念につい て、その内容を十分に 認識している		○			殆どの職員は事業計画、 内部研修で認識していま すが、一部認識できてい ない職員がいますので徹 底していきます。	一部に認識が乏しい職員がおられ るとのことですが、外部から見る限 り認識して行動できているように見 受けられます。今後も内部研修を 継続し、スキルアップを図ってい かれることを望みます。
		3	運営者は、専門技術の 向上のため、職員を育 成するための具体的な 仕組みの構築や、法人 内外の研修を受ける機 会等を確保している				○	内部研修は月1回実施し ていますが、外部研修が 職員不足のため、殆ど参 加する余裕がありません でした。今後は職員が希 望する内容の外部研修を 年1回実施します。	内部研修の充実が基盤となつての 外部研修が理想と考えますので、 外部研修計画は主催団体・研修 テーマ・研修内容等を立案したうえ で希望に沿った参加を徐々に確保 していくと良いのではないかと 思います。
		4	管理者は、サービス提 供時の職員の配置等を 検討する際、職員の能 力が最大限に発揮さ れ、能力開発が促され るよう配慮している		○			ユニット毎に適切に職員 配置をしていますが、人材 や研修の不足により能力 が十分発揮されていない ので、研修などを通じて能 力開発を図っていきます。	職員の能力が最大限に発揮される ことは非常に難しい課題と感 じます。個々のスキルアップに 対する努力と職員同士がチ ームで動くことの重要性を 認識しながら、日々の業 務の中で振り返ることが大切 だと思います。